

平成 20 年 9 月 16 日

お取引先各位

最新情報

HOT！な情報報告

宇宙の技術！民間へ！！

9月12日、「フジサンケイ ビジネスアイ」にガイナ関連の記事が掲載されました。

紙面には弊社が開発した**ガイナ**が宇宙技術ブランドの製品として認定されたことにより、お客様に安心してご利用いただいているという内容となっております。
少しでも多くのお客さまへの、より良い生活環境を弊社としてもサポートしてまいります。

「JAXA COSMODE PROJECT」の**第一号案件**に選ばれた**ガイナ**の記事を、とくにご覧下さい。

紙面の著作権は新聞社に帰属しておりますので、紙面の取扱いにはご注意ください。
(ホームページや広告には掲載しないで下さい。)

皆様の拡販にご活用ください。

株式会社日進産業

JAXA

ブランド戦略加速 宇宙技術製品にロロ

宇宙航空研究開発機構(JAXA)が、宇宙開発技術を応用した製品に独自のロゴマークを発行するなど、宇宙ブランド戦略を強化している。宇宙技術を身近に感じてもらおうと同時に、民間企業との連携強化による宇宙関連産業のすそ野拡大や宇宙技術開発などを目指している。

企業とコラボ

ロケット先端部に使用されて

いた断熱技術が、意外にも住宅向けに活用されている。日産産業(東京都板橋区)が開発した断熱塗料「ガイナ」だ。ガイナは6月、宇宙ブランドロゴ「JAXA COSMODE PROJECT」の「写真」はロケット第1号案件に選ばれた。断熱性の高い特殊セラミックスを塗料化する「こと」成功。塗料だけで、断熱を可能にした。同社では「性能をアピールするのが難しかったが、宇宙ブランド認定を機に信頼性が上がり問い合わせ

が急増した」と、ブランド効果を実感する。

観測衛星のデータを活用した立体映像撮影システムや、宇宙から折り紙ヒコキを飛ばし、地球に帰還させるプロジェクトから生まれた折り紙ヒコキキットなど新ブランドで4件が採択されている。

食品メーカーにも宇宙ブランド採用が拡大している。ハウス食品が宇宙ステーション滞在用に開発した「レトルトカレー」「スパイスカレー」は、宇宙ブランド

宇宙航空研究開発機構 2003年10月、宇宙科学研究所(ISAAS)、航空宇宙技術研究所(NAL)、宇宙開発事業団(NASDA)が統合して発足した独立行政法人。ISAS(国際宇宙ステーション)計画や、人工衛星、惑星探査機や航空技術など宇宙航空分野の基礎研究から開発・利用まで一貫して行っている。

「宇宙日本食」として認定。

「レトルト技術の評価を高め、実際に取引拡大にもつながった」と、JAXAによる、お墨付きが予想以上の販売効果をあげているという。山崎製パンや明治製菓、日清食品なども認定を得ている。

すそ野広げ競争力

ロゴマーク使用は、使用料として、売り上げの0.1%をJAXAに支払う仕組みだが、JAXAが目指すのはブランドビジネスではない。宇宙開発の最先端技術を活用した市場開拓に



加え、企業の技術を宇宙開発に積極的に取り込みたいとの意思がある。

宇宙開発は国民生活の向上に必ずしも貢献できていないとの指摘があった。8月末に施行された宇宙基本法では、国際競争力強化による産業の振興が明記

されており、これまで以上に企業との連携が求められる。

JAXAは宇宙ビジネス創出に向け「宇宙オープンラボ」制度を設け、企業との共同研究を進めている。松下電工は宇宙船内で使用するLED(発光ダイオード)照明装置を開発し、すでに国際宇宙ステーションへの物資補給機への納入が決まっている。宇宙飛行士用の運動靴を開発するアシックスや宇宙滞在空間で使用するふとん開発を進める西川リビングなど、非宇宙分野の企業参入も相次いでいる。ロケット開発など宇宙機器産業の市場規模は約3000億円に過ぎないが、技術やサービスを応用したすそ野市場は約3兆円にのぼると見られている。「参入の敷居を下げることで宇宙ビジネスはまだまだ広がる」(JAXA産学官連携部)と意気込んでいる。